

# 日本海洋人間学会第2回大会

## 大会次第

〈2013年8月30日暫定版〉

主催：日本海洋人間学会

会期：2013年9月28日（土）・29日（日）

会場：東京海洋大学品川校舎白鷹館

### 【大会本部】

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7

東京海洋大学内 日本海洋人間学会事務局

TEL/FAX：03-5463-4276（千足研）

E-mail：jsmta@jsmta.jp

## 日本海洋人間学会第2回大会

### 学会役員

会長 : 佐野裕司

副会長 : 神田一郎 松下雅雄

常務理事 : 千足耕一

理事 : 赤嶺正治 海野義明 小峯 力 佐々木剛 七呂光雄  
高木英樹 武田誠一 長谷川勝俊 柳 敏晴 矢野吉治  
吉本誠義

監事 : 菊地俊紀 寺澤寿一

事務局長 : 藤本浩一

### 大会実行委員会

実行委員長 : 武田誠一

委員 : 阿保純一 漆谷伸介 菊地俊紀 佐々木剛 佐野裕司  
千足耕一 寺澤寿一 蓬郷尚代 藤本浩一

ボランティア学生 : 小林 俊 葛木 開 佐藤勇希 池田 恵 笹尾麻衣  
他数名の予定

## 大会日程表

### 9月28日(土)

- 09:30～10:30 次期役員会 (役員任期：2014年4月1日～2016年3月31日)  
10:30～11:30 現役員会 (役員任期：2012年4月1日～2014年3月31日)  
10:30～ 受付開始  
11:30～12:45 口頭発表  
12:45～13:30 昼食  
13:30～14:20 日本海洋人間学会第2回総会  
14:30～15:10 基調講演「演題未定」  
15:20～17:20 シンポジウム1「漁業と教育」  
17:30～18:45 口頭発表  
19:00～21:00 懇親会(大学会館食堂)

### 9月29日(日)

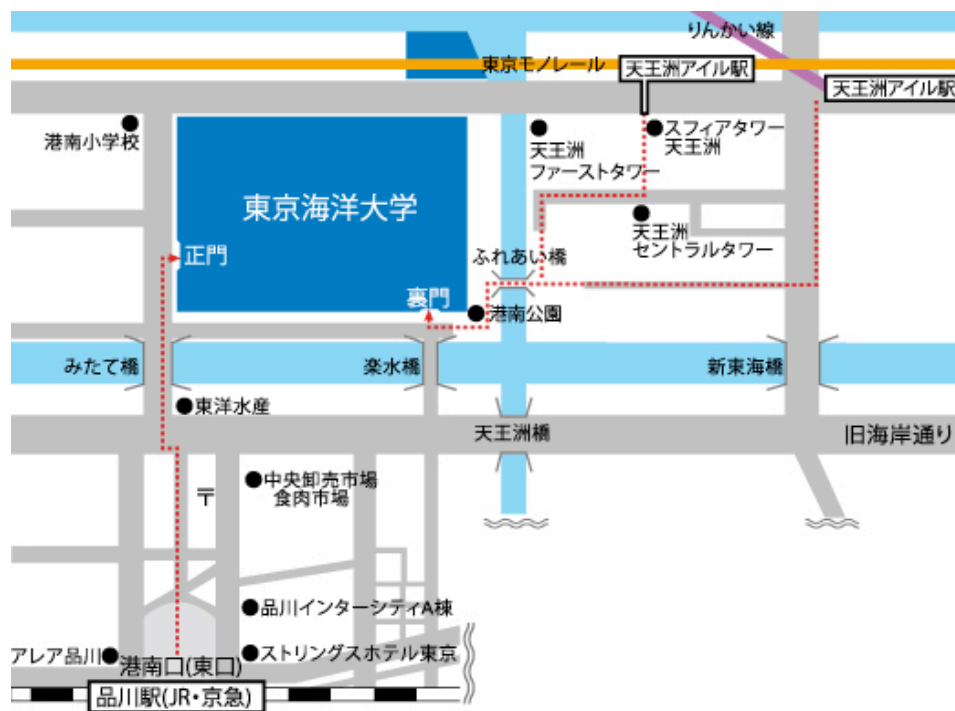
- 08:40～ 受付開始  
09:10～11:00 シンポジウム2「船と教育」  
11:05～12:20 口頭発表  
12:20～12:40 ポスターセッション  
12:40～13:20 昼食  
13:20～15:10 シンポジウム3「マリンスポーツと教育」  
15:15～17:55 口頭発表

※プログラムは変更される場合があります

## 東京海洋大学品川キャンパスへのアクセス

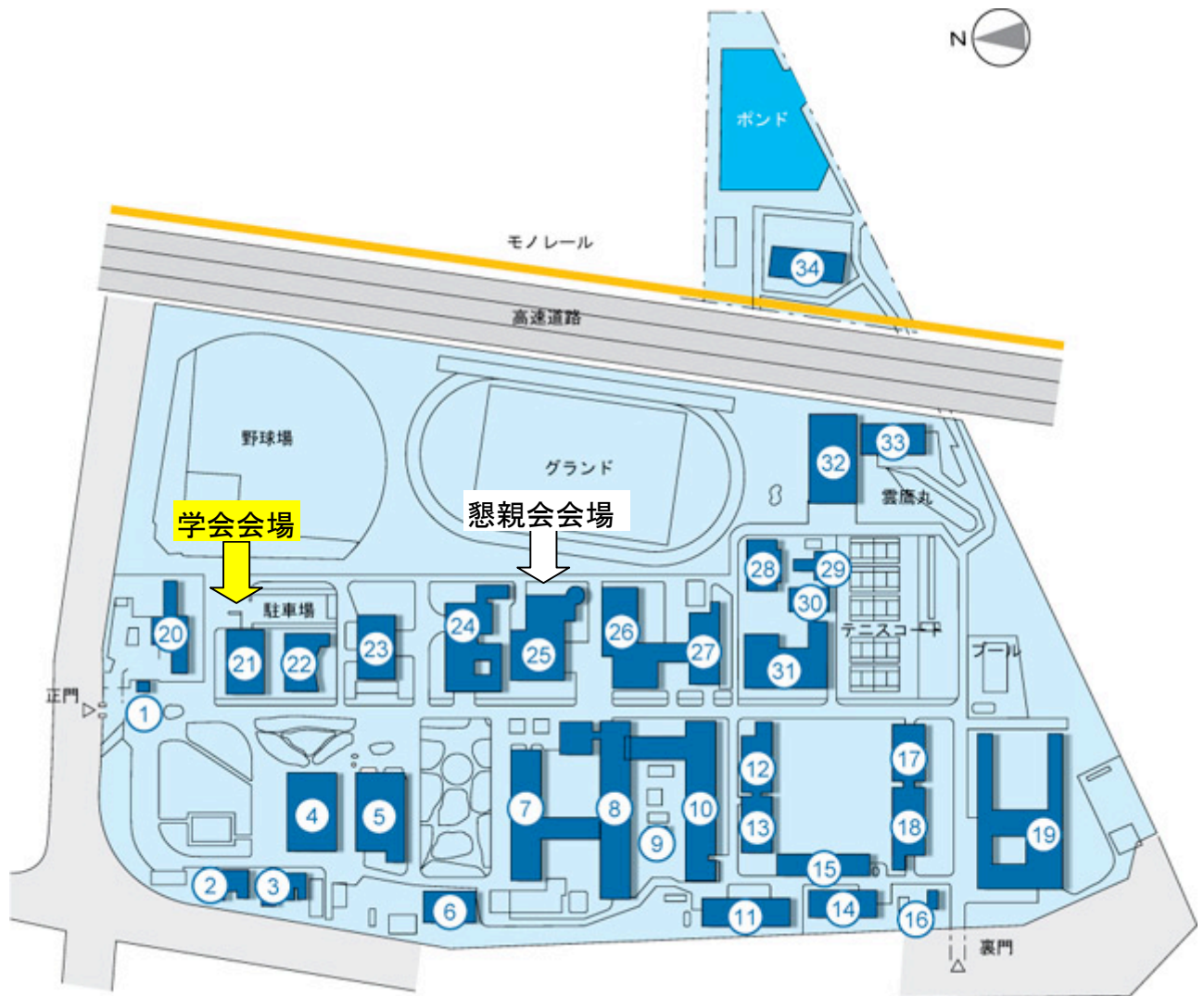
会場：東京海洋大学品川キャンパス（〒108-8477 東京都港区港南4-5-7）

- 交通： 1)JR線・京浜急行線「品川駅」下車、港南口より徒歩約10分  
2)りんかい線「天王洲アイル駅」下車、徒歩約15分  
3)東京モノレール「天王洲アイル駅」下車、徒歩約10分



## 品川キャンパス案内図

- ・発表・総会会場（白鷹館 1F 講義室：21）
- ・休憩室・役員会（白鷹会館 1F 会議室：21）
- ・懇親会（大学会館・食堂：25）



|    |          |    |                 |    |                |
|----|----------|----|-----------------|----|----------------|
| 1  | 守衛所      | 13 | 7号館/産学・地域連携推進機構 | 25 | 大学会館           |
| 2  | 保健管理センター | 14 | 放射性同位元素利用施設     | 26 | 講義棟            |
| 3  | 職員集会所    | 15 | 水理模型実験棟         | 27 | 5号館            |
| 4  | 本部管理棟    | 16 | 廃水処理施設          | 28 | 武道館            |
| 5  | 講堂       | 17 | 8号館             | 29 | 体育管理・合宿施設      |
| 6  | 回流水槽実験棟  | 18 | 9号館             | 30 | 課外活動施設         |
| 7  | 1号館      | 19 | 学生寮(朋鷹寮)        | 31 | 特殊実験棟/情報処理センター |
| 8  | 2号館      | 20 | 国際交流会館          | 32 | 体育館            |
| 9  | 飼育実験室    | 21 | 白鷹館             | 33 | 漁業機械学実験実習棟     |
| 10 | 3号館      | 22 | 楽水会館            | 34 | 艇庫             |
| 11 | 4号館      | 23 | 水産資料館           |    |                |
| 12 | 6号館      | 24 | 附属図書館           |    |                |

## プログラム

9月28日(土)

09:30～10:30 次期役員会 (役員任期：2014年4月1日～2016年3月31日)

10:30～11:30 現役員会 (役員任期：2012年4月1日～2014年3月31日)

10:30～ 受付開始

11:30～12:45 口頭発表 セッション1

座長：阪根靖彦((独)航海訓練所)

Oa01. 社会文化的アプローチによる機関室文化の系統的伝承の分析

坂 利明((独)航海訓練所)

Oa02. 内航船員教育訓練に関する研究 - 練習船における深度化実習について -

五島聖司((独)航海訓練所)

Oa03. 練習船における社会的スキル向上について

国枝佳明((独)航海訓練所)

Oa04. CBT (Computer-Based Training) に関する研究

- PC 型機関室シミュレータを用いた教育訓練への取り組み -

小川 涼((独)航海訓練所)

Oa05. リーダーシップ・チームワーク訓練に関する研究

- 操帆訓練によるリーダーシップ能力の開発 -

村田 信((独)航海訓練所)

12:45～13:30 昼食

13:30～14:20 日本海洋人間学会第2回総会

14:30～15:10 第2回学会大会基調講演「森と海の教育力 - 大震災に学ぶ -」

講演：畠山重篤(NPO法人 森は海の恋人理事長)

司会：海野義明((特非)オーシャンファミリー海洋自然体験センター)

15:20～17:20 シンポジウム1「漁業と教育」

司会：武田誠一(東京海洋大学大学院)

シンポジスト：松澤芳春(国土交通省 海事局 船員政策課 安全衛生室長)

「新しい船員災害防止の施策-第10次船員災害防止基本計画」

高石由紀子(鳥取県立境港総合技術高等学校)

「高校の漁業教育」

武田誠一(東京海洋大学大学院)

「大学の漁業教育」

久宗周二(高崎経済大学)

「安全な漁業労働環境確保事業について」

17:30～18:15 口頭発表 セッション2

座長：中塚健太郎（筑波大学）

Ob01. 江の島西浦漁港の変遷およびその効果について

小林 俊（東京海洋大学大学院）

Oa06. ウインドサーフィンの普及と定着過程に関する研究

平野貴也（名桜大学）

Oa07. サーフトレーニングに関するリスクマネジメント

石川仁憲（海岸研究室，中央大学，日本ライフセービング協会）

18:15～18:45 口頭発表 セッション3

座長：金田晃一（千葉工業大学）

Oa08. 監視作業における積極的休息法としての軽運動の効果

中塚健太郎（筑波大学）

Oa09. ヒトにおける息こらえ中の血液再配分 - 一般成人を対象とした case study -

藤本浩一（日本女子大学、東京海洋大学大学院）

19:00～21:00 懇親会（大学会館食堂）

9月29日(日)

08:40～ 受付開始

09:10～11:00 シンポジウム2「船と教育」

司会：赤嶺正治（大島商船高等専門学校、日本郵船歴史博物館前館長代理）  
シンポジスト：守田 明（NPO 法人 日本セイルトレーニングスクール理事長）  
「セイルトレーニングで『生きる力』を伸ばす」  
矢野吉治（神戸大学 神戸大学練習船深江丸船長）  
「練習船深江丸における海技教育と海事の啓発活動について」  
赤嶺正治（大島商船高等専門学校、日本郵船歴史博物館前館長代理）  
「海事普及活動と教育～ステークホルダーの視点から～」

11:05～12:20 口頭発表 セッション4

座長：矢野吉治（神戸大学）

- Ob02. 主体的な学びを促すセーリング教育の試み 久保田秀明（創価大学）
- Ob03. ヨットを用いた新人社員研修プログラムについて 原口啓太郎（神戸大学）
- Oa10. 練習船実習による実習生のライフスキルの変化 脇田ひとみ（神戸大学）
- Oa11. 臨海学舎における教師のリーダーシップに関する研究 吉井英博（帝塚山学院小学校）
- Oa12. 小学校における海の教育活動の課題と今後 - 環境教育の視点から - 飯沼慶一（学習院大学）

12:20～12:40 ポスターセッション

- Pb01. 津波救命艇の開発とその経緯 高原満弘（国土交通省四国運輸局）
- Pa01. ボードパドリングにおけるストローク特性：レーシングボードとレスキューボードの比較 深山元良（城西国際大学）
- Pa02. 自治体を主体とした水圏環境教育の展開とその意義 佐々木剛（東京海洋大学大学院）
- Pa03. 子ども版海洋リテラシー調査票の妥当性の検討 蓬郷尚代（東京海洋大学大学院）
- Pa04. 船員に対する頸肩背腰部の愁訴調査と筋の圧痛検査との関連性 行田直人（明治国際医療大学、東京海洋大学大学院）
- Pa05. 加速度脈波と心電図を用いて計測した脈波伝播時間の精度 藤本浩一（日本女子大学、東京海洋大学大学院）
- Pa06. 顔面冷却刺激及び止息が脈波伝播速度に及ぼす影響 菊地俊紀（日本大学）

12:40～13:20 昼食



9月29日(日)

13:20～15:10 シンポジウム3「マリンスポーツと教育」

司会：海野義明（（特非）オーシャンファミリー海洋自然体験センター）  
シンポジスト：矢野 正（大阪女子短期大学）  
「臨海学校における遠泳教育の意義」  
小峯 力（中央大学 生命健康科学研究室）  
「学校教育への導入とファーストレスポonderの育成」  
池谷真一（日本サーフアカデミー高等部 事務局長）  
「サーフィンと教育～笑顔と自然の生涯学習」

15:15～16:15 口頭発表 セッション5

座長：湊 真輝（神戸大学）  
Ob04. VHFによる避航操船用通信簡易英文例集を内航船約3500隻に無料配布した実践報告（途中経過）  
七呂光雄（（一社）全日本船舶職員協会）  
Oa13. インターネットを活用した海事広報の可能性と課題  
霜田一将（（独）航海訓練所）  
Oa14. 旅客船の火災事故における避難行動に関する研究  
福司光成（高崎経済大学大学院）  
Oa15. 旅客船の衝突事故における避難行動に関する研究  
福司光成（高崎経済大学大学院）

16:20～17:05 口頭発表 セッション6

座長：久門明人（（独）航海訓練所）  
Ob05. 漁業の労働安全のための労災・海難の分析の必要性  
佐伯公康（水産総合研究センター水産工学研究所）  
Oa16. 船舶運航中における眠気に関するヒアリング調査  
小西 宗（神戸大学）  
Oa17. 視界制限状態での航行に関するヒアリング調査  
湊 真輝（神戸大学）

17:10～17:55 口頭発表 セッション7

座長：蓬郷尚代（東京海洋大学大学院）  
Ob06. 東日本大震災後のボランティアダイビングと商業活動再開に関する一考察  
鉄多加志（東海大学海洋学部）  
Oa18. 東日本大震災後の宮城県下におけるサーフィンの復興に関する調査研究  
佐藤延男（東海大学）  
Oa19. 海辺の自然体験活動後に子どもが描いた絵画の質的分析  
渡部かなえ（青山学院女子短期大学）

タイトルの記号は以下の通りです

Oa：口頭による研究発表  
Ob：口頭による実践報告  
Pa：ポスターによる研究発表  
Pb：ポスターによる実践報告

## 学会大会参加者へ

大会へのご参加は、下記の年会費および大会参加費を納めた本学会会員に限り、本学会会員以外の方も臨時会員として、大会当日に参加費を納めることで参加することができます。なお、ご入会を希望される場合は、この他に入会金 1,000 円と年会費 6,000 円が必要となります。

※参加費等は、事務局口座への前納振込（期限：2013 年 9 月 17 日）を推奨します。

|      | 年会費       | 前納大会参加費 | 大会当日参加費        |
|------|-----------|---------|----------------|
| 正会員  | 6,000円    | 3,000円  | 5,000円         |
| 学生会員 | 3,000円    | 1,000円  | 2,000円（学生証を提示） |
| 賛助会員 | 一口20,000円 | 1,000円  | 2,000円（一口1名まで） |
| 臨時会員 | —         | —       | 5,000円（大会当日受付） |

## シンポジストへ

- 発表形式は、PowerPoint を使用した液晶プロジェクターによる一面映写を原則とします。また、発表中のパソコンの操作は、発表者の責任において行って下さい。
- 発表用 PowerPoint 用ファイルは、受付に準備されている学会所定のパソコンにコピーしたのち、必ずご自身で動作確認を行って下さい。なおコピーはセッション毎に定められた以下の日時にてお願い致します。

シンポジウム 1 「漁業と教育」 28 日 13:00～14:00

シンポジウム 2 「船と教育」 29 日 08:40～09:00

シンポジウム 3 「マリンスポーツと教育」 29 日 12:20～13:00

なおプレゼンテーション用のパソコンは学会本部で準備したものを使用し、それ以外のパソコンは原則として使用できないものとします。パソコンのシステムは、Windows7、PowerPoint2010 となります。

- PowerPoint ファイルに動画を埋め込む場合は、AVI 形式、WMV 形式など、Windows7 環境下での PowerPoint2010 において再生可能であるファイル形式、なおかつ容量も極力少なくしたものをご使用ください。また当日は PowerPoint ファイルのみならず、動画ファイルの原本も合わせてお持ちください。学会本部でも動画ファイル形式や再生に関して幅広く対応できる準備を整えておりますが、万が一再生できない場合は何卒ご容赦頂ければ幸いです。

## 一般口頭発表者へ

- 発表者は会場到着後、ご自身の発表の前までに必ず受付を済ませてください。
- 発表形式は、PowerPoint を使用した液晶プロジェクターによる一面映写を原則とします。また、発表中のパソコンの操作は、発表者の責任において行って下さい。
- 前演者の発表が開始した後に必ず次演者席へお座り下さい。1 演題の持ち時間は、13 分（発表 10 分、質問 3 分）です。呼び鈴は 8 分に 1 回、10 分に 2 回、13 分に 3 回鳴ります。発表時間を厳守して下さい（持ち時間 13 分を経過した場合は、発表を打ち切って頂く場合も有ります）。
- 発表用 PowerPoint 用ファイルは、受付に準備されている学会所定のパソコンにコピーしたのち、必ずご自身で動作確認を行って下さい。なおコピーはセッション毎に定められた以下の日時にてお願い致します。

セッション 1 28 日 10:30～11:15      セッション 4 29 日 08:40～09:40

セッション 2 28 日 13:00～14:00      セッション 5 29 日 12:20～13:00

セッション 3 28 日 13:00～14:00      セッション 6 29 日 12:20～13:00

セッション 7 29 日 12:20～13:00

なおプレゼンテーション用のパソコンは学会本部で準備したものを使用し、それ以外のパソコンは原則として使用できないものとします。パソコンのシステムは、Windows7、PowerPoint2010となります。

5. PowerPoint ファイルに動画を埋め込む場合は、AVI 形式、WMV 形式など、Windows7 環境下での PowerPoint2010 において再生可能であるファイル形式、なおかつ容量も極力少なくしたものをご使用ください。また当日は PowerPoint ファイルのみならず、動画ファイルの原本も合わせてお持ちください。学会本部でも動画ファイル形式や再生に関して幅広く対応できる準備を整えておりますが、万が一再生できない場合は何卒ご容赦頂ければ幸いです。

### ポスター発表者へ

1. 発表者は会場到着後、指定質疑応答時間（29日 12:20～12:40）の前までに必ず受付を済ませてください。
2. ポスターのサイズは、A0 版縦置き（1,189mm×841mm）の範囲内とします。
3. ポスターは、28日 10:30 から 29日 09:00 までに発表者の責任において掲示して下さい。また発表者は、指定時間中（29日 12:20～12:40）ポスターの前にて質疑応答を行ってください。取り外しは 29日 12:40 から 17:55 までに行ってください。なお掲示場所は、学会会場 1 階の受付奥のスペースとなります。詳細は当日受付にてご確認ください。
4. 掲示用のピンまたは磁石等は学会本部にて準備しております。

### 宿泊施設の手配について

宿泊施設の手配は大会事務局では一切行っておりませんので、個人にてご手配ください。

### 懇親会（9月28日19-21時 大学会館）にご参加の方へのお願い

懇親会費は下記のとおりとなっております。事務局口座への前納振込を推奨します。

|    | 前納     | 当日     |
|----|--------|--------|
| 一般 | 3,000円 | 4,000円 |
| 学生 | 2,000円 | 3,000円 |

### 海洋人間学雑誌 投稿料無料のご案内

第2回学会大会にて口頭発表またはポスター発表が行われた演題につきましては、2013年11月29日までに海洋人間学雑誌 (ISSN:2187-0691) にご投稿頂きますと、通常投稿料が原著、研究資料、報告書は1編あたり10,000円、短報は1編あたり5,000円となっておりますところ、全て無料と致します。投稿規定につきましては学会 HP (<http://www.jsmta.jp>) をご参照ください。